

小金井市へのアクセス



J R 新宿駅から

→ J R 東小金井駅

J R 中央線快速立川・高尾方面行き
ご利用 24 分

→ J R 武蔵小金井駅

J R 中央線快速立川・高尾方面行き
ご利用 27 分

→ 西武多摩川線新小金井駅

J R 中央線快速立川・高尾方面行き
ご利用、武蔵境駅乗換え 27 分



J R 武蔵小金井駅南口



市公式ホームページ



市のプロモーションビデオ

エピソード

■東町1丁目の多摩川線とICUの敷地の間に野川へ下りてゆく坂がありますが、その坂の上からは晴天の日に電車の走る音を下に聞きながら富士山を見ることができます。祖父は晩年、散歩がてら一人で、または祖母と二人で、または孫の私とひ孫の三人でそこでよく富士山を見ていました。今年、その祖父が亡くなりました。

認知症で文字を忘れてしまってもその場所に私達を連れて行って富士山を見せてくれようとしてました。「また、富士山を見に行こう」と励ますとうれし涙であったか悔し涙であったか、涙を流していました。祖父にとって忘れることのない小金井の景色であったと思います。

8歳になる私の息子はそこに小さい時に行ったことを覚えています。祖父の教えてくれた癒しの富士見スポットは孫とひ孫に受け継がれました。

(中町・女性・40代の方)

■小金井の魅力といえばやはり小金井桜だと思います。

(中町・女性・70代の方)

■はけの道に沿って続く沢山の坂道は、それぞれに違った味わいを持っている。

(本町・女性・70代の方)

■小金井に40年以上住んでいるが、ハケの緑や野川、武蔵野公園の雑木林など、東京とは思えない自然の環境が、都心からこの距離にあることに魅力を感じる。

(前原町・男性・60代の方)

■小金井は自然の豊かな地域です。国分寺崖線から湧き出す水、緑と花に恵まれた数々の公園。街と人と自然が融和し、暮し易い環境となっているのが最高の魅力の小金井市です。

(本町・男性・60代の方)

■街中には畑が多くあり、季節を感じる旬の野菜や果物が直接買える。珍しい江戸東京野菜もあつたりする。都会のような忙しさはこの街には無くのどか。暮らすのにちょうどいい時間が流れている。

(東町・男性・30代の方)

■小金井 宮地楽器ホールは、市民の広場として、文化・芸術の拠点として、そして市民の幅広いニーズに応え市民から支持され小金井の新しい顔として定着し、魅力がいっぱいで輝いている。

(中町・男性・70代の方)

発行：小金井市(令和6年3月改訂)

住所：〒184-8504 東京都小金井市本町 6-6-3

電話：042-383-1111(代表)

小金井市の紹介



ヤマザクラ

小金井市は東京都のほぼ中央、武蔵野台地の南西部に位置し、新宿から電車で約25分の距離です。約4km四方と入り組みが少ないコンパクトな地形となっており、比較的発達した路線バス網が整備されています。小金井の地名の由来は「黄金に値する豊富な水が出る」ことから、「黄金井」が転じて「小金井」になったと言われてい

ます。まちは、豊かな自然に囲まれ、市の南側には野川とそれに沿った武蔵野公園・野川公園、北側には玉川上水とそのそばに小金井公園があり、水とみどりに恵まれています。また、玉川上水沿いのヤマザクラ並木(国の名勝に指定)をはじめとした桜の名所として知られ、小金井市のシンボルとして市章にも桜の花びらが取り入れられています。

現在、約12万人が暮らし、多くの高校や大学が設置され、住宅都市・文教都市としての性格が強いまちです。また、市内には、宮崎駿監督のアニメーション映画を中心に製作しているスタジオジブリが所在し、豊かな自然や懐かしい風景は作品づくりの参考になっています。そのほか、テレビなどの時報の基になる「日本標準時」は、市内にある、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)内の原子時計により作られ、管理されています。

小金井市は
こんなところ
です。

公園

小金井公園、野川公園、武蔵野公園と3つの大きな都立公園に囲まれているほか、数多くの市立公園や緑地、さらに花々やせせらぎの音が心地よい遊歩道が整備されています。なお、いずれの都立公園でもバーベキューを楽しむことができます。



都立小金井公園



都立野川公園



都立武蔵野公園

江戸東京たてもの園

都立小金井公園内に所在。文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示する野外博物館です。映画「千と千尋の神隠し」で作画の参考にされた建物もあります。



子宝湯（江戸東京たてもの園内）

はけ

市の中央線南側には、「はけ」と呼ばれる高低差約15mの崖が東西を走り、崖線下には湧水が湧き出ています。この豊富な湧水は、「東京名湧水」にも3か所選定されています（滄浪泉園、貫井神社、美術の森緑地）。また、「はけ」があることにより、多くの由緒ある坂が存在し、独特な景観を作り上げています。



美術の森緑地

小金井阿波おどり

小金井市の夏の風物詩。浴道も多くの人で賑わい、太鼓や鐘の音、掛け声が威勢よく響き渡ります。



コウカシタ・ヒガコインキューベーション

東小金井駅高架下にKO-TO（東小金井事業創造センター）、PO-TO（店舗併用シェアオフィス）、MA-TO（食とものづくりのシェア施設）が並んでいます。創業・物件相談可。



シェアオフィス、シェアキッチン

桜

江戸時代から桜の名所として有名な玉川上水堤の桜並木をはじめ、春になると市内のあちこちで桜が見事な花を咲かせます。



雨水浸透施設

雨水の地下浸透を促進し、地下水・湧水を保全するため、雨水浸透ますを主とした雨水浸透施設の設置を積極的に進めています。令和5年3月末現在の設置率が70.5%で、世界に誇れる数字となっています。



雨水浸透ます

イメージキャラクター こきんちゃん

市制施行50周年を記念して、市のイメージキャラクターをスタジオジブリの宮崎駿監督に描いていただきました。さまざまなイベントに登場しています。



© Studio Ghibli

乳幼児と保護者の交流の場

自由に遊んだり、おしゃべりをしたり、どなたでも参加できるひろばをこども家庭センター、児童館4館、学童保育所6所で開設しています。また、市内の認可保育施設の園庭も開放しています。

冒険遊び場（プレーパーク）

子どもが自由な発想で自由に遊びながら、感性や生きる力を磨くこと等を目的に、東京学芸大学構内と都立武蔵野公園くじら山で開催しています。プレーリーダーが常駐していますので、安心して遊べます。

給食

すべての小中学校の調理場で、給食を作っています。「ルーから手作りのカレー」に代表される小金井らしい給食を提供し、地場野菜の活用、バイキング給食、セレクト給食など工夫を凝らした取り組みを行っています。

教育

豊かな自然環境と大学等が多く設置されている文化環境の中で、熱心な教育が行われています。地域や保護者の教育に対する関心が高く、学校・家庭・地域等が連携して質の高い教育が展開されています。

元気な高齢者の方々が活躍しています

小金井市の平均寿命は高く、ご当地介護予防体操「小金井さくら体操」をはじめ、健康づくりの推進を図っています。

市内農産物庭先販売

市内には、畑の一角や農家庭先に野菜や果物が並んだ庭先直売所が約40か所あります。



武蔵小金井駅から羽田空港へ直行バス出てます。

武蔵小金井駅から東京行きの始発電車あります。